

平成29年度 学校評価表

学校教育目標	・ 日本国憲法に基づき、真理を学ぶ情熱と自らの力で問題を解決する実践力と創造力に富んだ人づくりを目指す
重点目標 (長中期的目標)	・ 個性や能力を伸ばし、安全で安心して学べる学校づくりを進める ・ 地域との連携を図り、地域に根ざした学校づくりを進める ・ 生徒の自立を促し、一人ひとりの能力の開発と基礎学力の定着を図る
今年度の重点目標	・ 生徒にとって自己肯定感が持てる居場所のある学校づくりをめざす ・ 家庭、および関係機関との連携を密にし、きめ細かな教育活動を行う ・ 生徒の自立を支援しながら、基礎学力の定着を図る ・ 生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめなどない安全・安心な環境づくりに努める

領域対象	評価項目	評価の観点	評価 (A・B・C)	コメント (なるべく具体的に)
教務	①学習活動や行事運営の円滑な推進	・ 各種行事の年間計画を作成し、円滑な運営を行うことができたか。 ・ 落ち着いて学習に取り組めるような学習環境に配慮し、日課や行事予定を立てることができたか。	A	球技大会やクリスマス会など、生徒が計画して意欲的に楽しむ活動が増えた。また、時間割や日程変更、特編授業等を生徒が落ち着いて学習に取り組めるよう考慮して組むことができた。今後も学習環境を整えるための配慮が必要である。
	②安全対策の強化	・ 危機管理マニュアルを周知・徹底できたか。 ・ 安全確保につながるよう避難訓練等の内容を工夫したか。	A	安全対策に努めて日々注意を促し、避難訓練を実施した。今後も、天候不順時や暗闇での登下校の安全に注意を喚起したい。
	③教育課程	・ 定通併修や高卒認定試験等、学校外における学修成果の認定を積極的に行い、生徒の多様な進路希望への対応がなされたか。	B	本年度は定通併修制度を利用した生徒はいなかった。来年度は希望している生徒がおり、併修制度を利用する方向で進めている。
生徒指導	①問題行動の未然防止	・ 全職員が生徒に関する情報収集や必要な情報を共有し、一体となって対応できたか。 ・ 登校指導や校外指導を行い、問題行動の未然防止・早期発見に努めたか。	B	職員間の情報の共有については概ね実行できたと思われるが関係機関との情報の交換、協力という点が今後の課題と思われる。
	②いじめ・不登校への支援	・ ケース会議や生徒理解の研修を進め、「いじめ」の早期発見と適切な対応を含めて全職員の共通理解のもと指導がなされたか。 ・ 不登校生徒への細やかな支援ができたか。	A	不登校傾向の生徒の情報収集、ケース会議、生徒理解研修など、全職員の共通理解のもと、全職員で生徒対応ができた。
	③教育相談活動	・ 生徒、家庭の抱える課題について相談にのり、教育相談、カウンセリング事業が積極的に活用できたか。	A	カウンセリングを希望する生徒、保護者と、スクールカウンセラーとのパイプ役が果たせた。今後も外部機関と連携をとりながら個別に支援していく。
進路指導	①基礎学力の向上	・ 授業の充実を図り、社会生活を送る際に必要となる知識や学力を向上させる指導がなされたか。 ・ 一人ひとりの個性や特性に配慮して、長所を伸ばすような指導がなされたか。	B	どの教科もきめ細かく、かつ必要な指導を熱心実践した。中には指導がむずかしい生徒もいるが総じて良好であった。
	②個々に応じた進路指導	・ 保護者との共通理解のもと、生徒の適性や興味に応じた進路選択の支援ができたか。 ・ 管内のハローワークと連携を密にし、進路情報の有効利用を進められたか。	B	担任の先生を中心として可能な限りの支援を行った。管外への就職希望者に対しては、ハローワークの事情からスムーズにいかないこともあった。
	③キャリア教育	・ 職場体験やライフスキルトレーニング等を通して、働くために必要なマナーやコミュニケーション能力の向上のための有効な指導がなされたか。	B	学校とは別の体験を通じて、個々の生徒の可能性をのばしていく良い機会となった。
生徒会	①「自主的活動」の重視	・ 学校行事等の中で、「自主的活動」の場を設定させることにより、「達成感」や「自己肯定感」を得ることができたか。	B	例年よりもかなり自主的な活動を意識させたことが何よりも生徒にとって大きな財産となったように思う。
	②クラブ活動の振興	・ クラブ活動を通じて生徒の心身の成長を支援し、人格の形成につなげることができたか。 ・ クラブ活動の参加率向上への取り組みが行われたか。	A	結果的に女子部員1名の活動であったが北信越に選抜され長野県チームとして北信越優勝に参加できた。また、クラブとしてはではないが新人戦に男子1名が参加した。来年に向け1年生5名が種目は決まらないがクラブ活動を始めている。
環境整備	①保健教育・保健管理	・ 健康診断、健康教育をとおして生徒一人ひとりが、自分の体と健康に関心を持ち、生涯にわたって心身ともに健康な生活をおくるための取り組みがなされたか。	A	SST、LST、薬物乱用防止講話など外部講師を招いての保健指導などの授業で、健康意識を高め、自分のことを見つめさせることができた。
	②保健衛生	・ 夜間の学校生活に対する安全衛生の管理点検と、校舎内外の美化・整頓がなされ学習環境が良好に整えられたか。	B	4月には校外清掃、校内は定期的に清掃活動を行い、校舎内外の美化・整頓に努める一方で、HR教室の学習環境には課題が残る。
学校環境の整備	①保護者に対する説明責任	・ 学習活動の状況や学校の指導方針、学校での生徒の様子などについて、保護者に十分な説明責任を果たすことができたか。 ・ 授業公開等を行ったか。	A	保護者懇談会を年に2回実施、「定時制通信」を定期的に発行し、学校での様子や行事予定を保護者に伝えるように努めた。また、定時制教育振興会総会、保護者懇談会に合わせ授業公開を行った。
	②地域社会への情報提供	・ 積極的に定時制の活動をホームページやマスコミ等で地域にPRできたか。 ・ 様々な機会を通じて地域との連携を図ることができたか。	A	ホームページの更新を定期的に行い、校外への情報発信がしっかりできた。職場体験、地域清掃、陶芸教室などを通じて地域との連携を図ることができた。
	③学校、関係機関との情報交換と連携	・ 各中学校、全日課程、近隣の定通課程のもつ学校、近隣市町村教育委員会との連携や意見交換を積極的に行い課題や問題点の共有がなされたか。	A	研修会や支援会議など関係機関との情報交換を行った。今後も情報を共有し、連携を深めていきたい。
その他	職員の資質向上	・ 校内外の研修会などに参加し、研修の成果や情報などを教職員間で共有できるよう努めたか。	B	校外研修の内容を職員会で共有し、資料を回覧するなど知識や意識の向上に努め、同僚性を高めた。